



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 塩野義製薬株式会社

コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 手代木 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 高木 浩樹

TEL 06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	67,823	6.4	12,210	6.6	12,066	3.2	6,910	82.8
24年3月期第1四半期	63,720	△15.3	11,454	43.7	11,692	62.1	3,780	△21.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 5,627百万円 (373.3%) 24年3月期第1四半期 1,189百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	20.64	20.63
24年3月期第1四半期	11.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	514,014	346,127	66.7
24年3月期	522,161	347,198	65.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 342,992百万円 24年3月期 344,216百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,000	11.3	24,500	34.3	23,500	27.5	14,000	70.7	41.80
通期	289,000	8.1	56,000	19.1	54,000	17.2	32,000	18.1	95.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	351,136,165 株	24年3月期	351,136,165 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	16,233,305 株	24年3月期	16,240,245 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	334,898,101 株	24年3月期1Q	334,898,113 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、本年4月に薬価改定が実施され、市場環境は厳しさを増しております。このような状況の中、当社グループは、国内市場におきましては、高コレステロール血症治療薬「クレストール」や高血圧症治療薬「イルベタン」、抗うつ薬「サインバルタ」などの戦略品を中心として精力的に取り組みを進め、また海外市場においても、海外子会社のシオノギ I N C. (米国)及びC&Oファーマシューティカルテクノロジーホールディングス L t d. (中国、以下C&O社)を中心に海外基盤強化への取り組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高678億23百万円、営業利益122億10百万円、経常利益120億66百万円、四半期純利益が69億10百万円となりました。

売上高につきましては、国内においては「クレストール」「イルベタン」「サインバルタ」が増加、その他の戦略品も順調に推移しましたが、抗生物質などの既存品が薬価改定により減収となり、国内医療用医薬品全体では、前年同期比0.8%の微増にとどまりました。一方、海外においては、シオノギ I N C. が予定通りに推移し、C&O社も連結業績に寄与しており、これらの結果、全体の売上高は前年同期比6.4%の増収となりました。

利益面につきましては、売上総利益が前年同期比3.4%増加しました。また、東日本大震災の影響を受けた前第1四半期連結累計期間に比べ、販売関連費用は増加しましたが、研究開発費が前年同期比10.0%の減少であったことから、営業利益は、前年同期比6.6%の増益となりました。経常利益については、先の営業利益の増加に加え、為替差損益の影響により前年同期比3.2%の増益、四半期純利益は、特別損失が前第1四半期連結累計期間に比べて少なかったため、前年同期比82.8%の増益となりました。

なお、当連結会計年度より、連結子会社である台湾塩野義製薬(股)の決算日を12月31日から3月31日に変更しております。このため、当第1四半期連結累計期間には、2012年1月～6月の6ヶ月分の同社の実績が計上されております。この影響額を除いた場合の前年同期比はそれぞれ売上高5.8%増、営業利益5.3%増、経常利益1.9%増、四半期純利益78.8%増となります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,140億14百万円で、前連結会計年度末と比べて81億46百万円減少しました。流動資産は、主に短期運用の有価証券が減少し、前連結会計年度末より33億35百万円少ない2,375億96百万円となりました。固定資産は、主にのれん等無形固定資産の償却及び為替評価による影響で、前連結会計年度末より48億11百万円減少し、2,764億18百万円となりました。

負債合計は1,678億86百万円で、前連結会計年度末と比べて70億76万円減少しました。流動負債は、主に6月に普通社債の償還を行ったこと等により、前連結会計年度末より47億24百万円減少し、773億39百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末より23億51百万円少ない905億47百万円となりました。

純資産合計は3,461億27百万円で、前連結会計年度末と比べて10億70百万円減少しました。株主資本は、主に四半期純利益の計上と配当金の支払により、前連結会計年度末より2億20百万円増加し、3,756億57百万円となりました。その他の包括利益累計額は、為替の変動による為替換算調整勘定のマイナスの増加などにより、前連結会計年度末より14億44百万円少ない326億65百万円のマイナスとなりました。また、少数株主持分は、前連結会計年度末より1億61百万円多い30億84百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成24年5月9日発表の業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社グループは、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

当社グループでは、2010年度からの第3次中期経営計画において、従来型の販売初期に急激な伸びを見せる製品を中心とする体制から、長期安定的な収益が見込める戦略8品目を中心とした体制に転換して着実に成長すること、またグローバル展開においては、新薬開発のグローバル化を目指して米欧亜における拠点整備を進めることを基本戦略として掲げております。

上記戦略8品目の販売拡大を目指して取り組んだ製造設備の集中・増強（固形製剤棟の建設、打錠・造粒設備等の増強など）がほぼ整ったことに加え、戦略8品目の売上高の国内医療用医薬品の売上高に占める割合が当連結会計年度に初めて50%を超える見込みであり、今後もその割合は増加することが見込まれていることと、英国に設立した連結子会社シオノギL t d . が当連結会計年度に事業を開始することで米欧亜の拠点整備が実現したことを契機に、有形固定資産の減価償却方法を見直した結果、以下の理由から定額法に変更することが当社グループの実態をより適正に表すものと判断いたしました。

①従来の販売初期に急激な伸びを見せ比較的早期に設備投資額の回収に繋がる製品を中心とする体制から、長期安定的な収益を見込める戦略8品目を中心とする体制に移行することにより、設備の稼動についてもより平準化、安定化が見込めること。

②在外連結子会社については従来より主として定額法を採用しており、日米欧亜の拠点が一体となってより効率的かつ効果的に経営資源を配分し、グローバルな研究開発・生産・販売体制の構築及び維持管理に資するためには、グループ会計方針を定額法に統一することが必要であること。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上総利益は113百万円、営業利益は649百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ658百万円増加しております。

#### （追加情報）

##### 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

当連結会計年度より、台湾塩野義製薬（股）は、決算日を12月31日から連結決算日へ変更いたしました。この変更により、平成24年1月1日から平成25年3月31日までの15ヶ月決算となっております。この決算期変更に伴い、当第1四半期連結損益計算書は、同社の平成24年1月1日から平成24年6月30日までの6ヶ月間を連結しております。同社の平成24年1月1日から平成24年3月31日までの内部取引消去後の、売上高は385百万円、営業利益は145百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ149百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,427	17,747
受取手形及び売掛金	65,568	65,631
有価証券	86,556	82,347
商品及び製品	26,040	26,894
仕掛品	12,662	12,537
原材料及び貯蔵品	11,418	11,041
その他	20,275	21,414
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	240,931	237,596
固定資産		
有形固定資産	74,282	74,535
無形固定資産		
のれん	63,572	62,249
その他	43,121	41,376
無形固定資産合計	106,694	103,625
投資その他の資産		
投資有価証券	63,568	61,739
その他	36,783	36,599
貸倒引当金	△97	△81
投資その他の資産合計	100,253	98,256
固定資産合計	281,230	276,418
資産合計	522,161	514,014
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,613	13,509
1年内返済予定の長期借入金	14,000	14,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	9,891	5,944
賞与引当金	6,745	9,738
返品調整引当金	5,356	5,975
その他の引当金	25	—
その他	27,430	28,170
流動負債合計	82,063	77,339
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	49,000	48,526
退職給付引当金	8,793	8,888
その他	15,106	13,133
固定負債合計	92,899	90,547
負債合計	174,963	167,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	353,676	353,888
自己株式	△19,746	△19,737
株主資本合計	375,436	375,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,729	8,469
繰延ヘッジ損益	△141	304
為替換算調整勘定	△38,809	△41,438
その他の包括利益累計額合計	△31,220	△32,665
新株予約権	58	50
少数株主持分	2,923	3,084
純資産合計	347,198	346,127
負債純資産合計	522,161	514,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	63,720	67,823
売上原価	18,043	20,573
売上総利益	45,677	47,249
販売費及び一般管理費	34,223	35,039
営業利益	11,454	12,210
営業外収益		
受取利息	32	36
受取配当金	533	486
その他	515	210
営業外収益合計	1,081	733
営業外費用		
支払利息	339	311
寄付金	235	174
その他	267	391
営業外費用合計	842	877
経常利益	11,692	12,066
特別利益		
投資有価証券売却益	—	337
固定資産売却益	353	—
特別利益合計	353	337
特別損失		
投資有価証券評価損	2,705	747
減損損失	1,609	—
災害による損失	1,089	—
違約金損失	969	—
事業構造改善費用	279	—
特別損失合計	6,653	747
税金等調整前四半期純利益	5,393	11,656
法人税、住民税及び事業税	4,581	5,541
法人税等調整額	△2,968	△801
法人税等合計	1,612	4,740
少数株主損益調整前四半期純利益	3,780	6,916
少数株主利益	—	5
四半期純利益	3,780	6,910



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,780	6,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	295	739
繰延ヘッジ損益	216	445
為替換算調整勘定	△3,103	△2,473
その他の包括利益合計	△2,591	△1,288
四半期包括利益	1,189	5,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,189	5,466
少数株主に係る四半期包括利益	—	161

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。